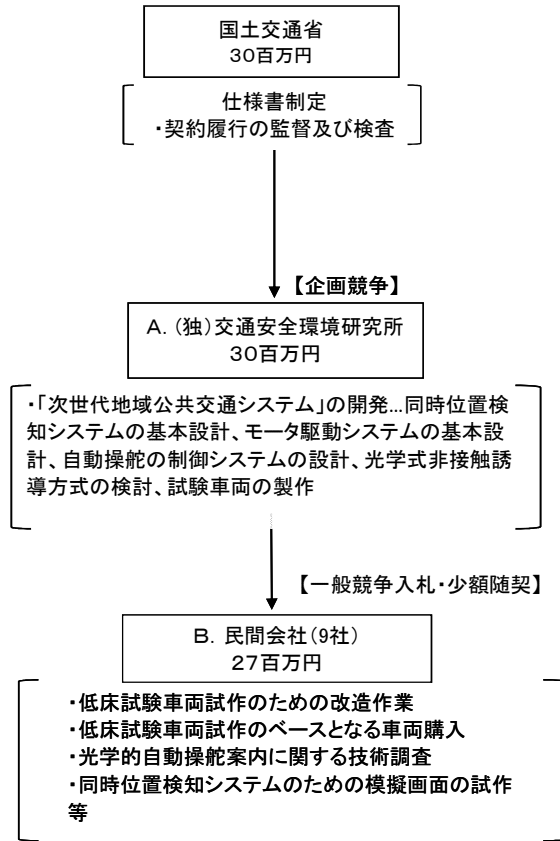


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	次世代地域公共交通システムに関する技術開発	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	総合政策局	担当課室	技術安全課	課長 安藤 昇		
会計区分	一般会計	上位政策	技術研究開発を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 (平成19年法律第59号)第4条第1項	関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針(平成19年総務省・国土交通省告示第1号) 国土交通省技術基本計画(平成20年4月策定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都市部の一般の道路上においてはLRTに類似する隊列走行モード、郊外部の一般の道路上においては路線バスと同様の単独走行モードに自由に切り替えることにより、旅客需要等に柔軟に対応する効率的な運行及び都市交通と郊外交通を一体的に捉える面的な公共交通ネットワークの構築を可能とする新たな技術を活用した公共交通システムを開発し、過度な自動車依存からの転換や中心市街地の活性化、地球温暖化等の環境問題等の社会的課題に対応することを旨とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)複数の路線系統の車両がまとまって同一軌道上を走行することを可能とする高度運行管理技術の開発 (2)車両低床化が可能なモーター駆動装置及び従来の電気駆動システムに比べ、エネルギー効率をさらに向上させる技術の開発 (3)複数車両の容易な連結・分離を可能とし、複数の車両が安定して軌道走行を行うことを可能とする自動誘導技術の開発					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・21年度においては、①表示機能を備えた同時位置検知システムの基本設計、②十分な動力性能と信頼性を備えたモータ駆動システムの基本設計、③自動操舵の制御システムの設計、光学式非接触誘導方式の検討、試験車両の製作を行った。 ・上記の技術開発の実施にあたっては、本技術開発に知見の有する機関や学識経験者による検討会を行った。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	33	30	20	20
	執行額	—	33	30		
	執行率	—	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施にあたっては当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことから、最も優れた提案をした者と契約を行う必要があるため、企画競争により委託先を選定している。 ・研究の進捗、予算の執行等に関し、受託者との定期的な打合せ、随時の連絡調整を行うことにより、研究の実施状況や資金使途を把握している。 ・委託先の支出の適正性については、毎年度経理検査を実施することで確認している。 				
	見直しの余地	公共交通への導入を目指し、安全性に関する試験データをより充実させ、公共交通としての安全性、信頼性の向上を図る等、効率的な研究を実施してより高いレベルの成果を目指す。 引き続き、研究の進捗、予算の執行等の把握に努めるとともに、予算執行の効率化に努めるものとする。				
予算監視の所見 効率化	【一部改善】 これまでの技術開発で明らかになった課題(安全性・信頼性の検証)への研究に重点化を図り、予算執行の効率化を図るべき。					
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・091 技術研究開発推進費 ・13 技術研究開発の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・13054-2129-06 技術研究開発謝金 0.1百万円 0.0百万円 ・13054-2122-08 技術研究開発調査旅費 0.1百万円 0.1百万円 ・13054-2122-08 技術研究開発委員等旅費 0.0百万円 0.0百万円 ・13054-2123-09 技術研究開発調査費 0.0百万円 0.0百万円 ・13054-2125-14 技術研究開発委託費 29.9百万円 29.9百万円 					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)交通安全環境研究所			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	低床試験車両試作のための改造作業、車両間連結・誘導技術を検証するための低床試験車両試作のベースとなる車両購入等	16			
雑役務費	光学的自動操舵案内に関する技術調査、同時位置検知システムにおける模擬画面の試作等	10			
一般管理費		3			
その他	連絡会開催経費(会場借料、謝金、旅費)、職員旅費等	1			
計		30	計		0
B.(株)日野エンジニアリング			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	低床試験車両試作のための改造作業	11			
計		11	計		0
C.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

B. 民間事業者(9者)27百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)日野エンジニアリング	10.5
2	大同信号(株)	6.3
3	東京日野自動車(株)	5.3
4	(株)アルプスビジネスサービス	1.8
5	(株)トーニチコンサルタント	1.0
6	(株)光アルファクス	0.6
7	(株)SIM-Drive	0.5
8	早稲田大学研究開発センター	0.5
9	千代田運送(株)	0.1
10		